



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月28日

上場会社名 トランコム株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 9058 URL http://www.trancom.co.jp/ir/index.html
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 清水 正久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務人事・財務経 理担当 (氏名) 岩尾 徹 TEL (052) 939-2011
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	48,625	13.1	2,181	16.4	2,127	19.2	1,187	13.4
25年3月期第2四半期	42,978	11.4	1,873	10.9	1,784	2.9	1,047	8.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,224百万円 (15.8%) 25年3月期第2四半期 1,057百万円 (13.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	122.42	—
25年3月期第2四半期	108.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	31,489	17,819	56.5	1,835.09
25年3月期	33,412	17,233	51.5	1,774.94

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 17,807百万円 25年3月期 17,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
26年3月期	—	32.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	13.4	4,890	14.6	4,760	16.0	2,650	12.9	273.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	10,324,150株	25年3月期	10,324,150株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	620,536株	25年3月期	620,418株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	9,703,667株	25年3月期2Q	9,673,768株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 自己株式に関する情報

当社は、従業員株式所有制度に基づく「株式給付信託（J-E S O P）」が所有する当社株式を四半期連結財務諸表において自己株式として計上しております。したがって、1株当たり四半期純利益又は1株当たり純資産を算定するための期末の普通株式及び普通株式の期中平均株式数について、「株式給付信託（J-E S O P）」が所有する当社株式を控除しております。なお、平成25年9月30日現在において、「株式給付信託（J-E S O P）」が所有する自己株式は15,000株であります。

※ 金額単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間につきましても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、実質GDPが前期比年率3.8%増（4～6月期）となる等、着実に回復をしております。一方で、来年度に控えた消費税の増税やT P P（環太平洋連携協定）の交渉結果の経済への影響等、日本企業にとって予断を許さない状況が継続するものと思われま

す。物流業界におきましては、景気回復への期待感が高まる中、燃料価格の高止まりやロジスティクス・コストの低減という荷主企業のニーズに応えるための体制強化を求められる等、物流事業者間の競争は厳しさを増しております。

このような情勢の下、当社グループは、中期経営計画「FF2015」の2年目として、コア事業であるロジスティクスマネジメント事業における更なる生産性の向上、物流情報サービス事業における新サービスの展開、インダストリアルサポート事業における事業基盤の確立を目指して、各事業の徹底強化に取り組んでまいります。また、これまで事業ごとに分かれていた営業体制から、各事業グループを横断したALL TRANCOMの営業推進体制を構築し、ワンストップで総合的にサービスを提供してまいります。

当社グループにおける、当第2四半期連結累計期間の主な拠点展開等は、次のとおりであります。

- 平成25年4月 営業推進グループを新設し営業機能を統合
- 平成25年4月 東京都港区に中ロット関東センターを開設
- 平成25年5月 大阪府枚方市に枚方事業所を開設

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は486億25百万円（対前年同四半期増減率 13.1%）、営業利益は21億81百万円（同 16.4%）、経常利益は21億27百万円（同 19.2%）、四半期純利益は11億87百万円（同 13.4%）となりました。

当社グループでは、事業内容を3つのセグメント及びその他に区分しております。セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ロジスティクスマネジメント事業

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	17,125	17,543	417	2.4
セグメント利益（営業利益）	1,089	1,220	131	12.0

一部の拠点における業務縮小及び撤退等による減収要因がありましたが、既存拠点における貨物出荷量の増加及び新規受託案件の業績への寄与により増収増益となりました。

② 物流情報サービス事業

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	23,536	25,862	2,326	9.9
セグメント利益（営業利益）	823	935	112	13.7

各情報センターで専属車両を増加する等、減少傾向にある空車情報の確保に注力した結果、成約件数が増加し増収増益となりました。また、新サービス（中量貨物サービス・特定顧客サービス）を開始し、高まるニーズへの対応力強化に取り組みました。

③ インダストリアルサポート事業

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	798	3,766	2,968	371.9
セグメント利益（営業利益）	△28	51	79	—

既存拠点における収益向上と㈱スマイルスタッフの連結化により増収増益となりました。

④ その他

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	1,900	1,973	72	3.8
セグメント利益（営業利益）	33	67	33	99.7

当セグメントは、情報システム開発事業及び自動車整備事業等であります。

(注) 1. 上記の数値は、セグメント間取引の消去はしていません。

2. 平成25年2月22日の株式取得に伴い連結子会社となった(株)スマイルスタッフ（インダストリアルサポート事業）は、決算日を12月31日から3月31日に変更しております。この変更により、当第2四半期連結累計期間は、平成25年4月1日から平成25年9月30日までの6ヶ月間を連結しております。なお、平成25年1月1日から平成25年3月31日までの3ヶ月分の損益については、利益剰余金の増減額として調整しております。

3. 非連結子会社であった以下の3社（インダストリアルサポート事業）は、事業上の重要性が増したため第1四半期連結会計期間より連結しております。

特蘭科姆国際貨運代理（上海）有限公司

特蘭科姆人才服務（天津）有限公司

TRANCOM (HK) LIMITED

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の各残高における、前連結会計年度末との比較情報は次のとおりであります。

イ. 資産

流動資産は、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末日が休日であった影響等から17億31百万円減少したこと等により18億37百万円減少し、170億81百万円となりました。

固定資産は、ソフトウェア開発等により無形固定資産であるソフトウェア仮勘定が3億4百万円増加した一方、有形固定資産が減価償却等により1億82百万円、無形固定資産であるのれんが償却により1億26百万円、投資その他の資産が68百万円減少したこと等により85百万円減少し、144億7百万円となりました。これらにより資産合計は19億23百万円減少し、314億89百万円となりました。

ロ. 負債

流動負債は、支払手形及び買掛金が4億65百万円、短期借入金が返済により9億39百万円、未払費用が1億34百万円、未払法人税等が3億64百万円、未払消費税等が2億38百万円それぞれ減少したこと等により23億8百万円減少し、106億58百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が返済により1億26百万円、リース債務がリース料の支払により87百万円それぞれ減少したこと等により2億円減少し、30億11百万円となりました。これらにより負債合計は25億8百万円減少し、136億70百万円となりました。

ハ. 純資産

純資産は、利益剰余金が四半期純利益等により5億49百万円増加したこと等により5億85百万円増加し、178億19百万円となり、自己資本比率は56.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「現金」という）は、前連結会計年度末に比べ94百万円減少し23億14百万円となりました。

イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益21億15百万円、減価償却費4億94百万円及び売上債権の減少額17億7百万円等の資金の増加、仕入債務の減少額4億79百万円及び法人税等の支払額12億35百万円等の資金の減少により、23億2百万円の収入（前年同四半期は18億21百万円の収入）となりました。

ロ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出3億76百万円及び無形固定資産の取得による支出3億14百万円等により、6億91百万円の支出（前年同四半期は4億14百万円の支出）となりました。

ハ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少額9億13百万円、長期借入金の返済（1年内含む）による支出1億32百万円、配当金の支払額5億82百万円、リース債務返済による支出1億8百万円等により、17億37百万円の支出（前年同四半期は7億58百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、「サマリー情報 3. 平成26年3月期の連結業績予想」に記載のとおり、売上高及び当期純利益の数値を修正しております。なお、営業利益及び経常利益の数値に変更はありません。この修正に伴う各セグメントの業績予想は次のとおりであります。

① ロジスティクスマネジメント事業

	平成25年3月期	平成26年3月期	対前期増減額	対前期増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	35,352	36,240	887	2.5
セグメント利益(営業利益)	2,568	2,770	201	7.9

② 物流情報サービス事業

	平成25年3月期	平成26年3月期	対前期増減額	対前期増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	48,046	52,870	4,823	10.0
セグメント利益(営業利益)	1,749	1,980	230	13.2

③ インダストリアルサポート事業

	平成25年3月期	平成26年3月期	対前期増減額	対前期増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	1,723	7,820	6,096	353.7
セグメント利益(営業利益)	△78	150	228	—

④ その他

	平成25年3月期	平成26年3月期	対前期増減額	対前期増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	3,996	4,120	123	3.1
セグメント利益(営業利益)	120	200	79	66.0

(注) 1. 上記の数値は、セグメント間取引の消去はしていません。

2. 平成25年2月22日の株式取得に伴い連結子会社となった(株)スマイルスタッフ(インダストリアルサポート事業)は、決算日を12月31日から3月31日に変更しております。この変更により、当連結会計年度は、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの12ヶ月間を連結する予定であります。なお、平成25年1月1日から平成25年3月31日までの3ヶ月分の損益については、利益剰余金の増減額として調整しております。

3. 非連結子会社であった以下の3社(インダストリアルサポート事業)は、事業上の重要性が増したため第1四半期連結会計期間より連結しております。

特蘭科姆国際貨運代理(上海)有限公司
特蘭科姆人才服務(天津)有限公司
TRANCOM (HK) LIMITED

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,633	2,539
受取手形及び売掛金	15,427	13,696
商品	8	8
仕掛品	3	2
貯蔵品	19	12
前払費用	324	408
繰延税金資産	276	296
その他	232	122
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	18,919	17,081
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,061	7,085
減価償却累計額	△2,979	△3,103
建物及び構築物(純額)	4,082	3,982
機械装置及び運搬具	2,652	2,760
減価償却累計額	△1,909	△1,983
機械装置及び運搬具(純額)	743	776
土地	2,940	2,940
リース資産	2,818	2,565
減価償却累計額	△889	△806
リース資産(純額)	1,929	1,758
建設仮勘定	0	—
その他	569	659
減価償却累計額	△388	△424
その他(純額)	180	235
有形固定資産合計	9,876	9,693
無形固定資産		
のれん	1,018	891
リース資産	12	15
ソフトウェア仮勘定	966	1,271
その他	450	435
無形固定資産合計	2,448	2,614
投資その他の資産		
投資有価証券	484	430
繰延税金資産	308	304
差入保証金	1,215	1,205
その他	197	205
貸倒引当金	△36	△45
投資その他の資産合計	2,168	2,099
固定資産合計	14,493	14,407
資産合計	33,412	31,489

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,180	5,714
短期借入金	2,515	1,575
リース債務	301	253
未払金	234	243
未払費用	1,261	1,126
未払法人税等	1,112	747
未払消費税等	441	203
賞与引当金	426	510
役員賞与引当金	38	19
その他	454	264
流動負債合計	12,966	10,658
固定負債		
長期借入金	264	137
リース債務	1,865	1,778
再評価に係る繰延税金負債	13	13
退職給付引当金	208	202
株式給付引当金	39	57
資産除去債務	385	391
長期未払金	108	107
その他	327	322
固定負債合計	3,212	3,011
負債合計	16,179	13,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	1,230	1,230
利益剰余金	15,851	16,401
自己株式	△972	△972
株主資本合計	17,189	17,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	24
土地再評価差額金	24	24
為替換算調整勘定	△0	19
その他の包括利益累計額合計	34	68
少数株主持分	9	12
純資産合計	17,233	17,819
負債純資産合計	33,412	31,489

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	42,978	48,625
売上原価	40,226	45,267
売上総利益	2,751	3,357
販売費及び一般管理費	878	1,175
営業利益	1,873	2,181
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	8
その他	9	22
営業外収益合計	18	31
営業外費用		
支払利息	88	80
その他	18	5
営業外費用合計	107	85
経常利益	1,784	2,127
特別利益		
固定資産売却益	43	6
その他	2	—
特別利益合計	45	6
特別損失		
固定資産廃棄損	9	13
その他	3	5
特別損失合計	12	18
税金等調整前四半期純利益	1,818	2,115
法人税、住民税及び事業税	789	932
法人税等調整額	△21	△4
法人税等合計	768	928
少数株主損益調整前四半期純利益	1,049	1,187
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2	△0
四半期純利益	1,047	1,187
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2	△0
少数株主損益調整前四半期純利益	1,049	1,187
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	13
為替換算調整勘定	0	23
その他の包括利益合計	7	36
四半期包括利益	1,057	1,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,054	1,222
少数株主に係る四半期包括利益	2	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,818	2,115
減価償却費	517	494
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	36
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15	△19
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	10	△6
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	—	18
受取利息及び受取配当金	△8	△8
為替差損益 (△は益)	1	△0
支払利息	88	80
固定資産売却損益 (△は益)	△43	△5
固定資産廃棄損	9	13
投資有価証券評価損益 (△は益)	3	0
売上債権の増減額 (△は増加)	782	1,707
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5	6
仕入債務の増減額 (△は減少)	△624	△479
未払消費税等の増減額 (△は減少)	127	△252
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△25	△20
その他	△24	△79
小計	2,626	3,609
利息及び配当金の受取額	8	8
利息の支払額	△88	△80
法人税等の支払額	△725	△1,235
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,821	2,302
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	50	—
有形固定資産の取得による支出	△265	△376
有形固定資産の売却による収入	53	9
無形固定資産の取得による支出	△258	△314
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	1	—
関係会社株式の取得による支出	△23	△22
貸付けによる支出	△22	△15
貸付金の回収による収入	1	22
その他	49	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△414	△691
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△913
長期借入金の返済による支出	△137	△132
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△435	△582
リース債務の返済による支出	△185	△108
財務活動によるキャッシュ・フロー	△758	△1,737
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	647	△111
現金及び現金同等物の期首残高	843	2,408
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	47
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△29
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,490	2,314

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,112	23,505	766	41,384	1,593	42,978	—	42,978
セグメント間の 内部売上高又は振替高	13	30	31	75	306	382	△382	—
計	17,125	23,536	798	41,460	1,900	43,360	△382	42,978
セグメント利益 又は損失(△)	1,089	823	△28	1,884	33	1,917	△44	1,873

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム開発事業及び自動車整備事業により構成し、一部の海外展開のための本社費用を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△44百万円には、セグメント間取引消去△44百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,529	25,813	3,696	47,039	1,586	48,625	—	48,625
セグメント間の 内部売上高又は振替高	14	49	70	133	386	520	△520	—
計	17,543	25,862	3,766	47,173	1,973	49,146	△520	48,625
セグメント利益	1,220	935	51	2,208	67	2,275	△93	2,181

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム開発事業及び自動車整備事業により構成し、一部の海外展開のための本社費用を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△93百万円には、セグメント間取引消去33百万円、のれんの償却額△1億26百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 平成25年2月22日の株式取得に伴い連結子会社となった(株)スマイルスタッフ(インダストリアルサポート事業)は、決算日を12月31日から3月31日に変更しております。この変更により、当第2四半期連結累計期間は、平成25年4月1日から平成25年9月30日までの6ヶ月間を連結しております。なお、平成25年1月1日から平成25年3月31日までの3ヶ月分の損益については、利益剰余金の増減額として調整しております。